

# 長野県とその周辺の地震活動

(令和7年10月)

令和7年11月17日  
長野地方気象台

## 【地震活動概況】

### 1. 長野県とその周辺

10月に、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（9月：8回）でした。10月の県内の最大震度は、5日00時21分 福島県沖の地震により南牧村で、14日02時33分 岐阜県飛騨地方の地震により木曾町で、それぞれ観測された震度2でした。詳細は「表2 10月に県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度」を参照してください。

表1 県内の震度別回数表（10月および2025年累計）

	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強 以上	計
2025年10月	3	2	0	0	0	0	5
2025年累計	92	29	4	2	1	0	128

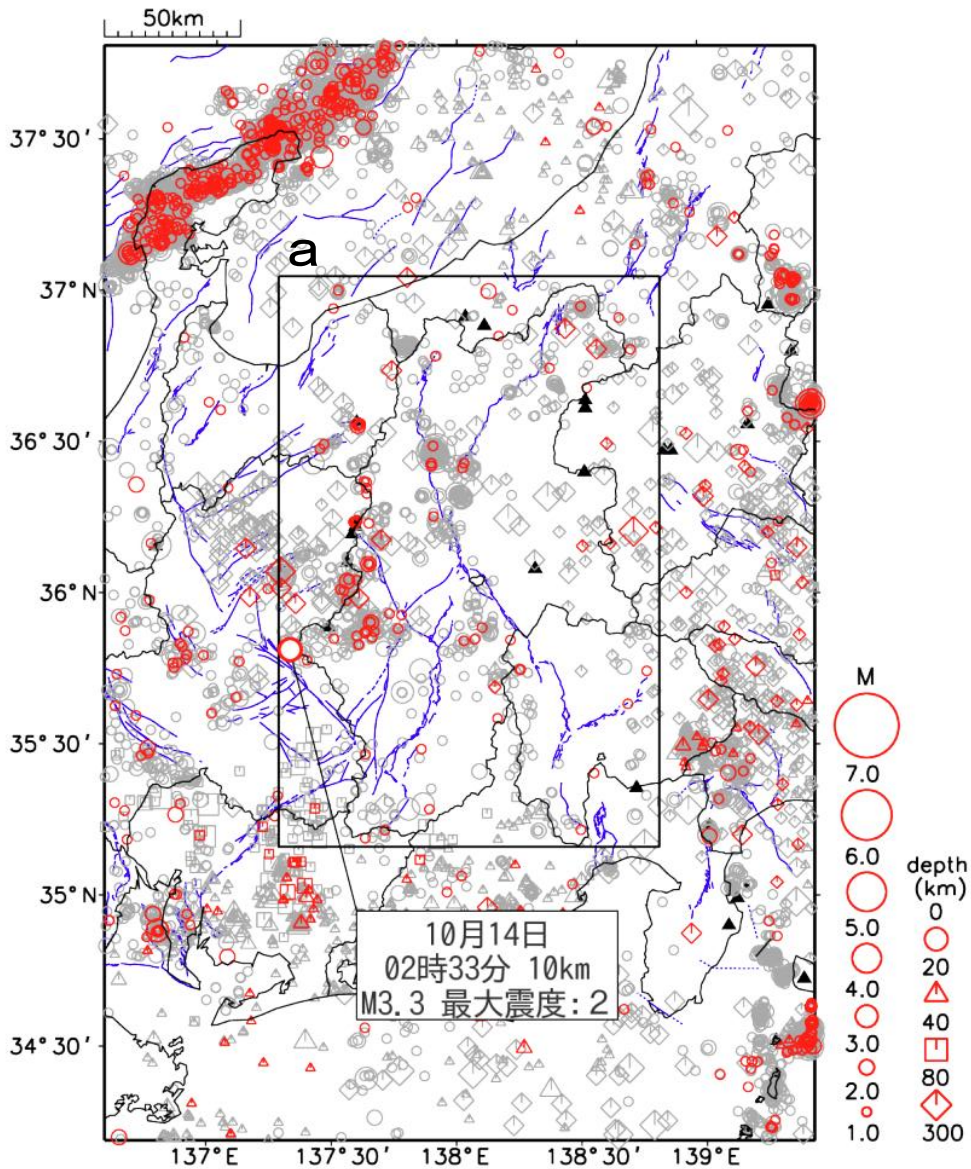


図1 震央分布図

(2024年11月1日～2025年10月31日、深さ0～300 km、M $\geq$ 1.0)

2025年10月の地震は赤色で示しています。長野県において今月の最大震度となった地震に吹き出しを付けています。青色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示します。また、▲は活火山を示します。

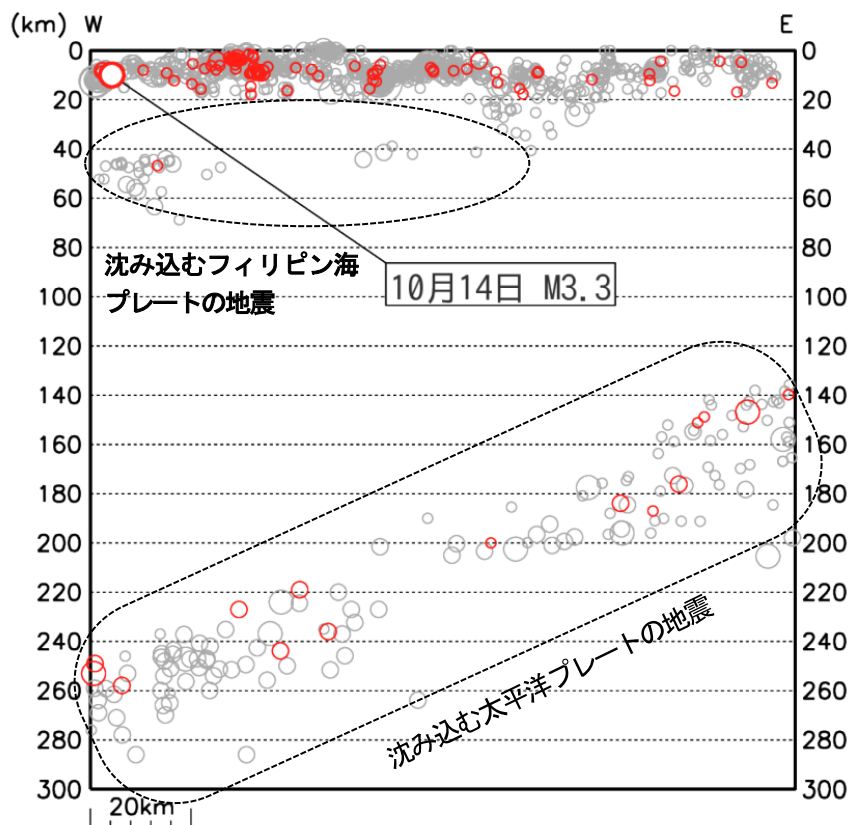


図2 東西断面図 (図1の領域a内)

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表しています。2025年10月の地震は赤色で示しています。

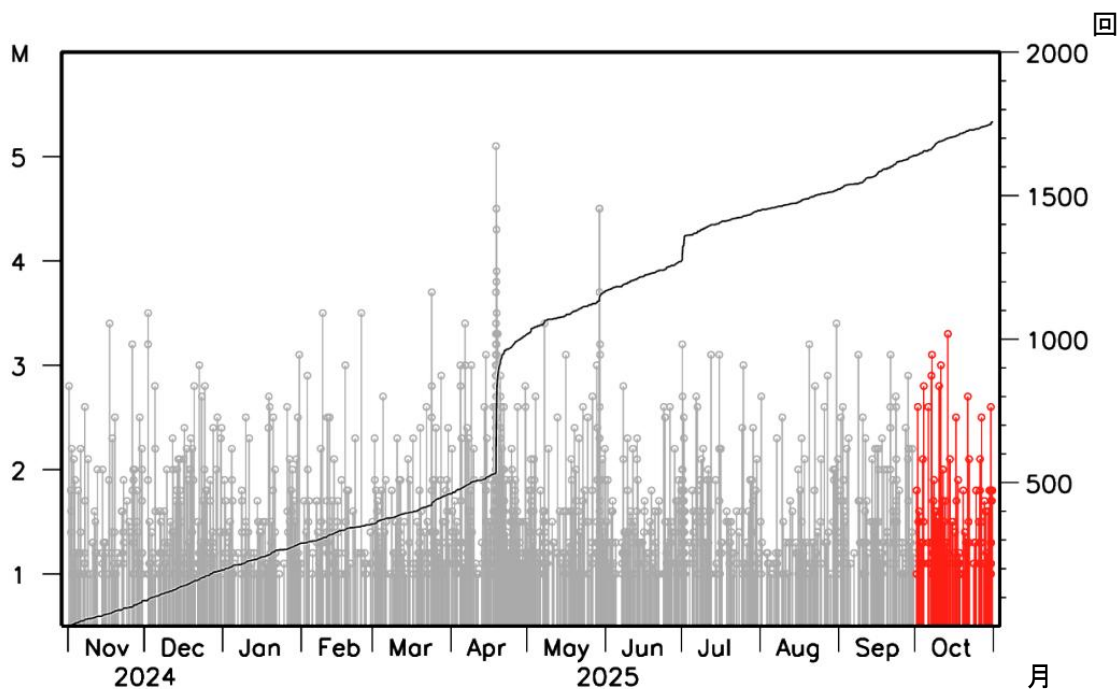


図3 地震活動経過図及び回数積算図 (図1の領域a内)

地震発生日時と、マグニチュードの大きさを丸の付いた縦棒で表しています。横軸は年月で、マグニチュードの目盛を左側に示します。2025年10月の地震は赤色で示しています。折れ線グラフは地震の積算回数を表し、目盛を右側に示します。

表2 10月に県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度

No.	年月日 時分 震央地名	緯度	経度	深さ	M
1	2025年10月05日00時21分 福島県沖 長野県 震度 2：長野南牧村海ノ口* 震度 1：諏訪市湖岸通り, 諏訪市高島*, 茅野市葛井公園*, 佐久市中込*, 軽井沢町追分御代田町役場*	37° 25.1' N	141° 35.1' E	45km	M6.0
2	2025年10月10日15時31分 岐阜県飛騨地方 長野県 震度 1：木曾町新開*	35° 49.3' N	137° 18.1' E	8km	M2.8
3	2025年10月14日02時33分 岐阜県飛騨地方 長野県 震度 2：木曾町新開* 震度 1：泰阜村役場*	35° 49.0' N	137° 19.4' E	10km	M3.3
4	2025年10月23日21時32分 静岡県西部 長野県 震度 1：根羽村役場*	34° 53.5' N	137° 47.0' E	21km	M3.3
5	2025年10月26日12時04分 栃木県北部 ※ 2025年10月26日12時05分 栃木県北部 長野県 震度 1：長野市信州新町新町*, 小川村高府*, 栄村北信*, 栄村小赤沢*, 千曲市戸倉*, 小諸市小諸消防署*, 小諸市文化センター*, 佐久市下小田切, 佐久市中込*, 小海町豊里*, 軽井沢町追分, 軽井沢町長倉*, 御代田町役場*, 立科町芦田*, 青木村田沢青木*, 筑北村坂井	36° 37.4' N 36° 37.3' N	139° 27.1' E 139° 27.6' E	5km 6km	M4.7 M2.8

\*の地点は、地方公共団体(長野県、松本市、大田市、栄村)または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

※を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離が出来ないことを示します。

各地の震度は、気象庁ホームページの「震度データベース検索」でも検索することができます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

## 2. 長野県内で震度を観測した主な地震

### 令和7年10月5日 福島県沖の地震

5日00時21分 福島県沖の地震(深さ45km、M6.0)により、福島県双葉町で震度4を観測したほか、東北地方から東海地方にかけて震度3～1を観測しました。長野県では南牧村で震度2を観測したほか、長野県中部で震度1を観測しました。

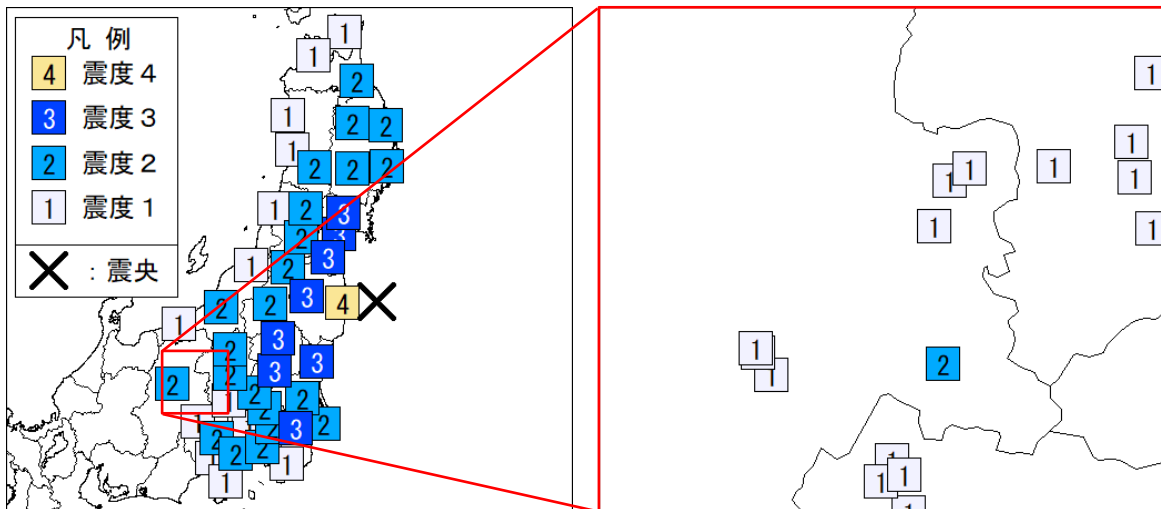


図4 10月5日 福島県沖の地震の震度分布図 (左：地域別、右：地点別)

## 令和7年10月14日 岐阜県飛騨地方の地震

14日02時33分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ10km、M3.3）により、木曾町で震度2を観測したほか、泰阜村、岐阜県で震度1を観測しました。

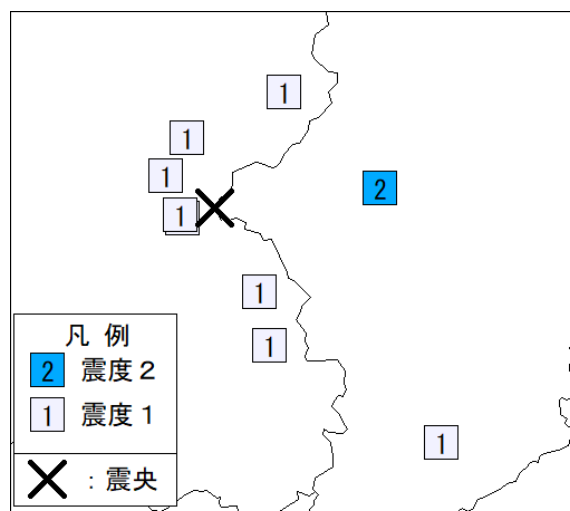


図5 10月14日 岐阜県飛騨地方の地震の震度分布図（地点別）

### 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会】

評価検討会、判定会は令和7年11月10日に行われています。現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

・詳細はこちらから <https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nteq/index.html>

南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」\*参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

※地震調査研究推進本部 HP [https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou\\_pdf/nankai\\_3.pdf](https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/nankai_3.pdf)

本資料中、マグニチュードをMと略記しています。

気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注)、文部科学省と協力して処理を行っています。

また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

本資料は速報資料です。後日内容を変更する場合があります。

「長野県とその周辺の地震活動」は、長野地方気象台ホームページに掲載しています。

長野地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/nagano/>

問い合わせ先：長野地方気象台 地震担当 (026-232-3773)

## 一口メモ

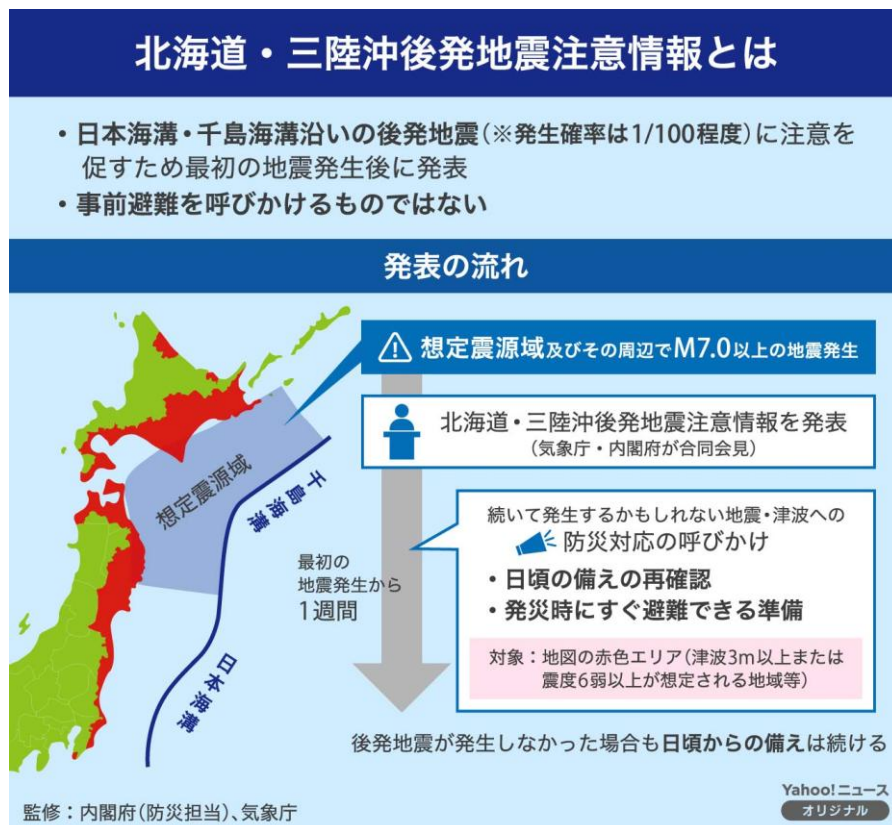
## 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域やその周辺で Mw<sup>\*</sup>7.0 以上の地震が発生し、大規模地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっている際に発表される情報です。この情報は、後発地震の発生時期や場所・規模を確度高く予測する情報ではなく、ましてや発生を予知する情報でもありません。また、大規模地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっていると言っても、後発地震が発生しない場合の方が多いこと、その一方、防災対応を呼びかける1週間が経過した後も大規模地震が発生する可能性があることなど、極めて不確実性が高い情報です。

※Mwとは、地震を引き起こした岩盤のずれの規模をもとにして計算したマグニチュードで、モーメントマグニチュードと言います。モーメントマグニチュードは物理的な意味が明確ですが、このマグニチュードを求めるには若干時間を要します。

このような背景を持つものの、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表するのは、過去の大規模地震が後発地震として発生している事例が知られているからであり、たとえ不確実性が高くとも警戒レベルを上げることで被害軽減を図ることができると考えられるからです。**突発的に発生する地震への日頃からの備えを前提とした上で必要な防災対応を呼びかけ、より多くの人命を守るための取組**なのです。

長野県は本情報の対象エリアではありませんが、日本全国どこでも地震は発生し得ます。日頃からの備えを再確認し、発災時には速やかに避難できる準備を整えておくことが重要です。地域の防災計画や避難場所を確認し、家庭や職場での安全対策を進めておきましょう。



詳しくは、気象庁HP「北海道・三陸沖後発地震注意情報」についてをご覧ください。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nceq/info\\_guide.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nceq/info_guide.html)